

ヨード造影剤との併用注意の薬剤について

ビグアナイド系糖尿病用剤とヨード造影剤は、併用により乳酸アシドーシスをきたすことがあるため併用注意とされています。

原因は、ヨード造影剤の投与により一過性の腎機能低下をきたす可能性があり、その結果、ビグアナイド系糖尿病用剤の腎排泄が減少し血中濃度が上昇するためと考えられています。

そのため、ビグアナイド系糖尿病用剤の服用を中止し、検査後48時間してから再開することが望ましいとされています。

ビグアナイド系糖尿病用剤を使用している患者様の造影 CT 検査を依頼される場合は、あらかじめビグアナイド系糖尿病用剤の投与を一時的に(下記をご参照ください)中止する等の適切な処置をお願い致します。

ビグアナイド系糖尿病用剤の服用中止について

腎機能・血清クレアチニン値	造影 CT 検査前	造影 CT 検査後
血清クレアチニン値が正常	検査時より服用中止	※検査後 48 時間、服用中止
血清クレアチニン値が異常	48 時間前から服用中止	※検査後 48 時間、服用中止

※但し、腎機能(血清クレアチニン値)が正常範囲内または悪化していない場合に、再開可。

造影 CT 検査のご依頼であっても、内服薬の内容が確認できない場合や投与中止等の処置がとられていない患者様においては、造影検査を見合わせることもございますのでご了承下さい。

ビグアナイド系糖尿病用剤一覧

一般名	商品名	規格	メーカー
塩酸ブホルミン	塩酸ブホルミン錠「ミタ」	50mg1 錠	東洋ファルマー
	ジベトスB錠	50mg1 錠	ガレン
	ジベトンS錠(腸溶錠)	50mg1 錠	寿製薬/ゼリア
塩酸メトホルミン	グリコラン錠	250mg1 錠	日本新薬
	メルビン錠	250mg1 錠	住友製薬
	メデット錠	250mg1 錠	トーアエイヨー/山之内
	ネルビス錠	250mg1 錠	三和化学研究所